

## 学金連携システム研究会 ~目的とその活動~

産学連携学会奨学金連携システム研究会 小野浩幸<sup>1</sup>、石塚悟史<sup>2</sup>、伊藤正実<sup>3</sup>、○内島典子<sup>4</sup>、大塙誠二<sup>5</sup>、加藤博良<sup>1,6</sup>、川崎一正<sup>7</sup>、川名優孝<sup>8</sup>、北村寿宏<sup>9</sup>、城野理佳子<sup>10</sup>、鞘師守<sup>4</sup>、塩川真澄<sup>11</sup>、白澤司朗<sup>12</sup>、高澤由美<sup>1</sup>、田口幹<sup>13</sup>、丹治惣兵衛<sup>14</sup>、野瀬真治<sup>15,16</sup>、藤原貴典<sup>16</sup>、森川茂弘<sup>17</sup>、矢島治夫<sup>18</sup>、山村正明<sup>19</sup>、渡辺裕<sup>1,22</sup>(山形大学<sup>1</sup>、高知大学<sup>2</sup>、群馬大学<sup>3</sup>、北見工業大学<sup>4</sup>、徳島大学<sup>5</sup>、米沢信用金庫<sup>6</sup>、新潟大学<sup>7</sup>、東京海洋大学<sup>8</sup>、島根大学<sup>9</sup>、北海道大学<sup>10</sup>、芝浦工業大学<sup>11</sup>、莊内銀行<sup>12</sup>、電気通信大学<sup>13</sup>、福島大学<sup>14</sup>、岡山大学<sup>15</sup>、トマト銀行<sup>16</sup>、秋田大学<sup>17</sup>、工学院大学<sup>18</sup>、宇都宮大学<sup>19</sup>)

### 1. 活動目的

地域の产学連携を推進するプレイヤーとして金融機関の存在が注目されている。金融機関の持つマンパワーに基づく企業ネットワークと企業情報は大学に有益であり、大学の持つ知的資産の活用は企業の強化に役立つ。しかし、学金連携は各地で散発的な活動が緒についたところである。本研究会では、各地での大学と金融機関との連携活動事例を集約し、状況の把握及び分析、モデル化ならびに学・金の双方の本体業務にメリットをもたらすためのシステム化のあり方の検討を通じて、学金連携のより効果的な推進に貢献することを目的としている。

## 2. 活動

平成20年9月の発足以後、これまで5回の研究会を開催している。

| 開催概要（日程/会場/参加人数） |                | 内 容   |  |
|------------------|----------------|---|--|
| 第1回              | 日程<br>会場<br>参加 | 平成 20 年 11 月 18 日（火）<br>東京海洋大学越中島キャンパス <sup>1)</sup><br>永田町合同庁舎 <sup>2)</sup><br>15 人 | ・会員所属大学における学金連携に係る事例発表および意見交換 <sup>1)</sup><br>北海道大学、北見工業大学、山形大学、福島大学、新潟大学、宇都宮大学、工学院大学、芝浦工業大学、東京海洋大学、島根大学、岡山大学、高知大学、大分大学（順不同）<br>・地域密着型金融の取り組み状況概要説明 <sup>2)</sup> （金融庁監督局参事官）<br>・地方再生戦略概要説明 <sup>3)</sup> （内閣府地域再生事業推進室長内閣審議官） |
| 第2回              | 日程<br>会場<br>参加 | 平成 21 年 3 月 17 日（火）<br>東京海洋大学越中島キャンパス<br>18 人   | ・全国的な学金連携の進展状況を把握するため、「学金連携の実態把握のためのアンケート調査」企画に関する意見交換<br>・事例紹介「山梨中央銀行が取り組むコーディネータ増員とその取り組みについて」（山梨中央銀行営業統括部公務法人推進室）   |
| 第3回              | 日程<br>会場<br>参加 | 平成 21 年 9 月 30 日（木）<br>東京海洋大学越中島キャンパス<br>19 人   | ・「学金連携の実態把握のためのアンケート調査」結果を踏まえた分析、持続的な学金連携システム構築に向けた検討議論<br>・事例紹介「北洋銀行の産学連携への取り組み」（北海道大学産学連携本部室長）   |
| 第4回              | 日程<br>会場<br>参加 | 平成 21 年 11 月 30 日（月）<br>財団法人川崎市産業振興会館<br>12 人   | ・これまでの研究会活動の総括と今後の活動方向の検討議論<br>・第 3 回に引き続き、「学金連携の実態把握のためのアンケート調査」結果を踏まえたさらなる分析、持続的な学金連携システム構築に向けた検討議論  |
| 第5回              | 日程<br>会場<br>参加 | 平成 22 年 4 月 8 日（火）<br>東京海洋大学越中島キャンパス<br>13 人  | ・学金連携をより効果的に推進するため、事例の類型化方針の検討議論<br>・学金連携の類型化・事例分析のための取り組み事例集の作成、および学金連携システムのモデル構築に向けた具体的な取組みについて検討議論  |

### 3. 金属構成

学金連携の取り組みは、地方およびその地域性により様々である。本研究会は22名(19機関)で構成される(図1.)。すでに、会員の所属地域において、大学および金融機関との連携内容に独自性が生まれていることなどが、これまでの研究会活動の中で明確となっている。<sup>1)(2)(3)(4)(5)</sup>

今後、本研究会会員増大を図り、事例の充実、その後のモデル化、システム化にむけて検討を進めることとする。



図1. 学金連携システム研究会会員構成

1) 第7回医学連携学会(福井大会) 0818A1530-6 学会連携システム研究会の活動について 小野浩幸(山形大学)

2) 第7回座連挑携手会(福井大会) 0818B1345-1 金手連携システム研究の今後の展望(金手連携基礎調査に關して) 小野浩幸(山形大学)

3) 第7回座学連携学会  
(福井大会) 0818B1345-2 学金連携基盤構築の概要  
高橋由美、小野浩幸(山形大学)

〔第7回〕山形大学連携学会 (福井大会) 081881345-3 知的資源経営を拓かず根城産業大学企画連携の取り組み 加藤薫子・小野泰志 (山形大学)

④第7回皇子連馬子(播磨八云) 0818B1345-3 知的資産説常吉を抱かずして地蔵堂子宮吉連が取り組み 加藤博門、小野信介(山形大学)  
⑤第7回魔除連推進学会(福井八云) 0818B1345-4 地蔵堂子連常吉ににおける金融機関と市村吉の会話の解釈 渡辺俊一、小野佐登(山形大学)